



クレモナヴァイオリン博物館見学



ヴァイオリン博物館では、5世紀にわたるクレモナのヴァイオリン作りの歴史を知ることができました。

どうして、クレモナはヴァイオリン作りが盛んになったのか。ヴァイオリンはどうやって作るのか。名器と呼ばれるヴァイオリンはどんな音色を奏でるのか。ヴァイオリン職人はどんなことに注意してヴァイオリンを制作しているのか…等々、色々知ることが出来ました。

分かったことは、この後各自が新聞にまとめていきます。



ストラディバリやアマティ等の名器と呼ばれるバイオリンが飾られていました。

どれも、数百年前に作られたとは思えないほどきれいで、美しかったです。

それぞれ、どんな音がするのか聴いてみたいと思いました。



日本人の学芸員の安田さんに、ヴァイオリンの歴史や、制作工程などのお話をいただきました。ヴァイオリンは、どのようにして現在の形になっていったのかや、職人はどうやってヴァイオリンを作っていくのかが、わかりました。



ヴァイオリンの中には魂柱（こんちゅう）という柱が隠れています。これがあるのとないのでは、響きが違うのがさわって分かりました。





子ども向けヴァイオリン工房体験では、ヴァイオリンの表板と裏板を、実際に職人が使う工具を使って、木を削る体験をしました。
木の材質が違えば手応えも違うことを感じることができました。



クレモナの町の中心部も見学しました。そこにある塔はとても高く、クレモナの町が見渡せました。町のほとんどが、レンガで作られている様子がとても良く分かりました。



ストラディバリのお墓は、中心地近くのローマ広場にある公園の片隅にありました。



クレモナへは、電車で移動しました。当日はストライキがあったので、時間通り出発するかドキドキでしたが、予定通りの日程で学習をすすめることができました。

